

## ② 生活習慣や学習習慣に関する調査

### 小学6年生・中学3年生 共通

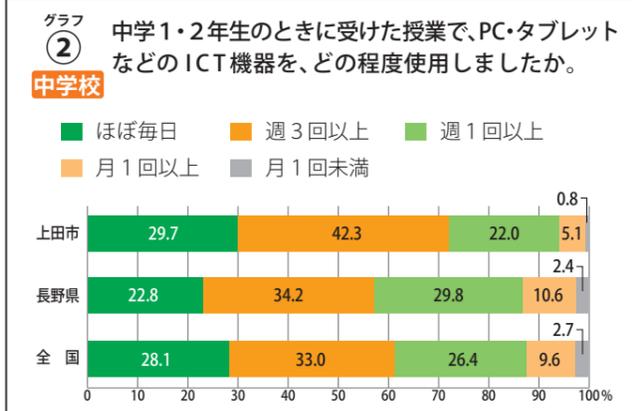
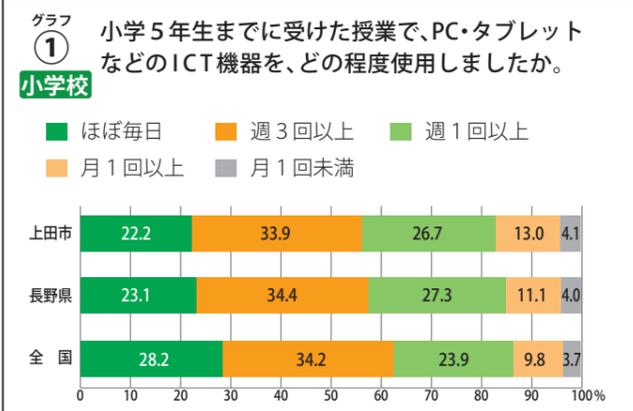
#### PC・タブレットなどのICT機器の有効活用を目指して

##### 現状と課題

「授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使いましたか」について、「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合の合計は、小学生が56.1%(全国比-6.3ポイント)、中学生が72.0%(全国比+10.9ポイント)となりました(グラフ①、②)。なお、前年度から小学校で5.4ポイント、中学校で22.4ポイント増加しています。

##### 今後に向けて

一人一台端末などのICT機器は、子どもたちの実態に応じて課題や教材に取り組むことができ、学習の理解を深める一つの重要な手だてと考えます。学校間や教員間の活用状況の差を解消し、有効に活用することによって、個別最適な学びや深い学びにつなげていきます。



※グラフの合計値は100にならない場合があります。

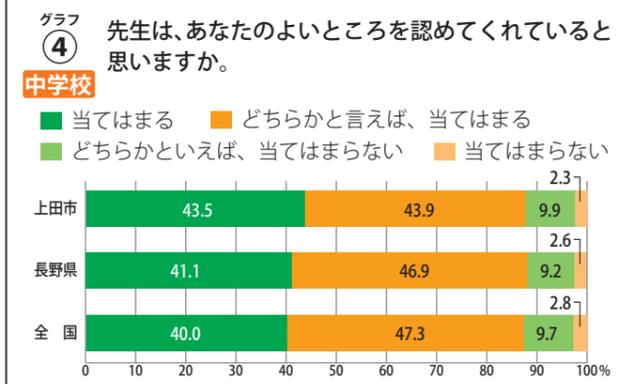
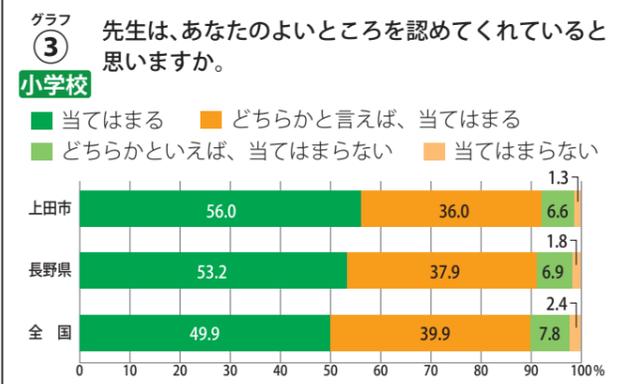
#### 自己肯定感の高揚を目指して

##### 現状と課題

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計は、小学生が92.0%、中学生が87.4%でともに全国値を上回っています(グラフ③、④)。

##### 今後に向けて

子どもたち一人ひとりの良さを認め、伸ばす指導に取り組んでいます。学習面だけでなく、生活面や行事など、さまざまな場面で子どもたちのよさや可能性を認め、子どもたちの自己肯定感を高めることにつなげていきたいと考えます。



※グラフの合計値は100にならない場合があります。

## ③ 変化の大きな社会を生きる力を育むために

子どもたち一人ひとりに確かな学力の定着とさらなる向上が図られるよう、これからも、学校では授業改善などに継続して努めてまいります。併せて、児童・生徒がよりよい生活習慣や学習習慣を身につけることができるよう、家庭・学校・地域の連携をさらに深めていく必要があります。

上田市教育委員会では、これらの調査結果を有効に活用し、今後も児童・生徒の確かな学力の育成と将来の礎となる「生きる力」を育む施策を立案・実践してまいります。



## 全国学力・学習状況調査 市内の児童・生徒の調査結果を公表



全国学力・学習状況調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析して、指導方法や教育施策の改善・充実につなげることを目的としています。

今年4月に、市内の全小中学校が参加した全国学力・学習状況調査の結果について、概要をお知らせします。

なお、この調査結果は、児童・生徒が身につける学力の一部であることをご承知ください。

●対象 小学6年生(25校)、中学3年生(11校)

●問い合わせ先 学校教育課 ☎23-5101

●内容 教科に関する調査(小学生/国語・算数、中学生/国語・数学・英語)  
生活習慣や学習習慣に関する調査

## ① 教科に関する調査

### 小学6年生

教科	現状と課題	今後に向けて
国語	○平均正答率65.5%(全国値との比較 -1.7ポイント) ○「話すこと・聞くこと」に関する分野の正答率は、全国値を上回りましたが、「書くこと」「読むこと」に係る分野は下回りました。特に、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを書く問題などに課題が見られました。	○相手を意識しながら、伝えたいことを簡潔に書くことや、起承転結が明確になる文章を書くなどの経験を積ませたいと考えます。また、文に書かれている内容を、整理しながら読み取る力を積ませたいと考えます。
算数	○平均正答率60.1%(全国値との比較 -2.4ポイント) ○「数と計算」「変化と関係」「図形」「データの活用」に関する問題の正答率は全国値を下回りました。特に、台形の意味や性質について問う問題や、2位数÷1位数の筆算について、商の意味を考える問題などに課題が見られました。	○図形の学習では、具体的操作やICTを使用して視覚的に理解を深めるなどの学習を大切にしたいと考えます。また、四則計算や、公式を使って解く問題では、その仕組みや成り立ちを大切にしたいと考えます。

### 中学3年生

教科	現状と課題	今後に向けて
国語	○平均正答率67.7%(全国値との比較 -2.1ポイント) ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する問題の正答率は全国値を下回りました。特に、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える問題などに課題が見られました。	○表現の仕方に着目しながら、表現の特徴や工夫を見出し、その効果を考える学習活動などを大切にしたいと考えます。
数学	○平均正答率47.9%(全国値との比較 -3.1ポイント) ○「数と式」「図形」「関数」「データの活用」に関する問題の正答率は全国値を下回りました。特に、2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして証明する問題などに課題が見られました。	○事柄が成り立つことを証明する場面で、まず、構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を考えさせる学習活動を大切にしたいと考えます。
英語	○平均正答率41.9%(全国値との比較 -3.7ポイント) ○「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の正答率は全国値を下回りました。特に、文と文との関係を正確に読み取る問題などに課題が見られました。	○物語や説明文などのまとまりのある英文を段落内の文と文との関係に注目しながら最初から最後まで読み、書き手が述べていることのおおまかな内容を捉える学習活動を続けたいと考えます。